

## 令和3年度 相談支援部の取り組み

### 特別支援教育講演会

本校では、多くの先生方に子どもたち一人一人の様々な教育的ニーズに応じて柔軟に対応できるよう、常に特別支援教育についてより深く学んでいきたいと考えています。そこで、相談支援部は地域支援の一つとして、西・中村・中川・港区の小・中・高等学校、幼稚園の先生方に参加していただけるよう、令和3年8月3日(火)に特別支援教育講演会を開催しました。本校の教職員だけでなく、地域の多くの先生方にも参加していただくことで、学びを共有することができました。なお、今年度は、新型コロナウイルス感染症の予防に配慮し、中川文化小劇場を会場とする参加方法とオンラインを活用した参加方法の2つの方法で開催しました。

#### 《 演題 》

「ライフステージに応じた切れ目のない発達支援～二次的な障害の予防のために」

#### 《 講演会講師 》

小川 しおり 氏(日本福祉大学 教育・心理学部心理学科 准教授)



- 1999年 名古屋大学医学部卒業 都立梅ヶ丘病院、豊田市こども発達センターなどに勤務。
- 2015年4月 愛知県青い鳥医療療育センター児童精神科に勤務。
- 2017年9月 名古屋大学医学部附属病院に勤務。 親と子どもの心療科で診療・教育に従事。
- 2021年4月 現職(日本福祉大学 教育・心理学部心理学科 准教授)  
医学博士、子どものこころの専門医、児童青年精神医学会認定医。  
名古屋市の精神科学校医(拠点校：守山西中学校)、特別支援教育スーパーバイザー、子ども適応相談センター講師

#### 【講演会についての感想など】

- ・ 福祉、医療という多角的な視点からの話で大変参考になった。
- ・ 発達障害と思春期について、分かりやすく説明していただいて、大変参考になった。子どもの特性やライフステージに応じた支援について知ることができた。また、就労の実態について、具体的な数値を基に学ぶことができた。
- ・ 周囲の理解不足から生じる二次障害を教員として重く受けとめ、指導の改善に努めたい。
- ・ 「できること」より「やりたくなること」を目指すということ  
は本当に大切だと思った。子どもの「自立したい」という気持ちを育てることを目標にしたい。

